

【 注射 】**１７５ アセトアミノフェン静注液又はトラマドール塩酸塩注射液とフルルビプロフェン アキシチルの併用投与について****《令和６年５月３１日》****○ 取扱い**

次の薬剤に対するフルルビプロフェン アキシチル（ロピオン静注）の併用投与は、原則として認められる。

- (1) アセトアミノフェン静注液（アセリオ静注液）
- (2) トラマドール塩酸塩注射液（トラマール注）

○ 取扱いを作成した根拠等

フルルビプロフェン アキシチル（ロピオン静注）は、組織のCOX阻害作用によりプロスタグランジンE₂の合成抑制にて鎮痛効果を発揮する非ステロイド性鎮痛剤（NSAIDs）である。

一方、アセトアミノフェン静注液（アセリオ静注液）は、中枢性COX阻害作用に加え、下行性痛覚抑制系の賦活作用により鎮痛効果があると考えられている。また、トラマドール塩酸塩注射液（トラマール注）は、 μ オピオイド受容体作動による上行性痛覚伝達抑制作用に加え、モノアミンの再取り込み阻害により下行性痛覚抑制系の賦活作用等を有する非麻薬性オピオイド鎮痛剤である。これらの3剤はそれぞれ作用機序が異なる。

以上のことから、アセトアミノフェン静注液、トラマドール塩酸塩注射液に対するフルルビプロフェン アキシチルの併用投与は原則として認められると判断した。